

## 津久井やまゆり園ご利用者・ご家族・職員への知事説明の概要 (R1. 12. 14)

### 1 知事説明

(知事) まずはご利用者の方にお話したいことは2つあります。一つは、皆さんに謝りたい。もう一つは、これからのこと、絶対心配しないでください。

何を謝りに来たのかというと、今、皆さんは意思決定支援をやっていただいている。そんな中で、もうすでにグループホームへ行かれた方、他の施設へ行かれた方がいらっしゃいました。皆さんのお仲間だった〇〇さん、〇〇さん、〇〇さん。私、会ってきました。皆さん、一生懸命働いて元気いっぱいでした。その姿を見て、皆さんお一人おひとりの気持ちをしっかり聴くということは、どんなに大事な事なのかということ、すごく強く感じました。逆に言うと、今まで私を含めてそれだけのことをやっていたのかな、これは反省しなきゃいけないと思いました。皆さんのために、みんな一緒にやってきました。でも、皆さんのためにという考え方と、皆さんの気持ちになってという考え方は必ずしも一緒じゃなかったのではないかな、ということ、私今頃になって気が付きました。そのことについてお詫びをしたい。これからは皆さんの気持ちをしっかり汲み取って、それに基づいて皆さんが本当に楽しい生活ができるような環境を全力を挙げて作っていきたいと思っています。

このやまゆり園は共同会に経営していただいています。そんな中で、つい先日、ここの偉い人がとんでもない事件を起こしてしまいました。そのことによって、津久井やまゆり園に関するいろんな情報が寄せられるようになりました。来年1月から3年半前の事件の裁判が始まります。そうしたら共同会の良くない情報がどんどんどんどん出てくると。このまま経営をお願いし続けることができなくなるかもしれない。来年になってできなくなって、それではもう一回、事業者を募集するとなると令和3年の皆さんの引っ越しに間に合わなくなってしまいかもしれない。これは大変だ、ということで私はちょっと早かったけれども、共同会には申し訳ない気持ちで一杯ではありますが、ここで仕切り直しをさせていただいて、もう一回、この園を経営するのはどこがいいですか、ということ募集させていただきたいと思います。ただ、これは絶対お約束いたします。皆さんがこのことによって不安になる、それは絶対にない。絶対そんなことはさせません。私が、責任持ちます。

次に、家族会の皆様にも私の気持ちをお伝えしたいと思います。家族会の皆さんは私が突然方針変更したことによって、大変ご心配をおかけしたことについて、心からお詫びを申しあげたいと思います。家族会の皆さんで共同会を頼りにされている方もたくさんいらっしゃる。それはよくわかります。皆さんお一人おひとりのご事情で、なかなか預かってもらえないことが続いた中で、共同会は預かってくれた。これはありがたい。その思いを持ってくださる方、本当にたくさんいらっしゃると思います。共同会の皆さんもその思いにこたえるために頑張っていると思います。

(ご利用者に説明した内容と同様のため、割愛)

皆様がこれからの方針転換の中で不安に思うようなことは絶対にないようにします。ご家族の皆さんが安心してこれからもご家族を託すと言うような環境を作るために、我々は全力を尽

くします。

共同会、そして職員の皆さんに対してもお話しをさせていただきたいと思います。3年半前の大きな事件があった後、私は中を見にまいりました。その時に、この大変な現場の中でも、職員の皆さんが一生懸命頑張っておられた姿といったものに感動いたしました。この苦しいときだからこそ、頑張らなきゃだめなんだ、そういう使命感に燃えて頑張っている職員の姿、本当に素晴らしかったと思います。そして、今こういうことになって、知事は全然評価しないのか、と思われる方もいらっしゃると思います。しかしそれは違います。仕事ぶりを評価しています。ここまで頑張っていたことに対して心から感謝申し上げます。

(ご利用者に説明した内容と同様のため、割愛)

今ここで決断をさせていただいたということで、私の思いがなかなか職員の皆さんに伝わらなかったら、この間、ご不安をおかけしたことを、心からお詫びを申し上げたい。でも、私がお願いしたいのは我々自身の反省も含めて、3年半前のとんでもない事件を二度と起こしてはいけない、逆に言うと、あんな事件があったからこそ素晴らしい障害福祉だといったものを皆さんとともに作っていききたい。その原点は、利用者のための福祉じゃなくて、利用者お一人お一人の目に立った福祉で、それを一緒に作っていきましょう。職員の皆さんも絶対ご心配をなさらないでください。このことによって、自分たちの働く場が奪われるということは絶対させません。働ける場をちゃんと用意するために、我々は全力を尽くしてまいりたい。ぜひともご理解いただきたいと思いますところでもあります。

## 2 質疑

(利用者A) いつ園に戻れますか。いつやまゆりに戻れますか。

(知事) 令和3年ですね。あと2年待ってください。

(利用者B) お話し…お話しあります。お話ししたい。知事さんお話ししたい。

(県職員) 今後も知事とお話しを続けたいということをお話しされています。

(知事) 今後も、もし場があれば、私はいつでも行きますから、お話しを続けたいと思います。

(利用者C) (ジェスチャーで表現)

(共同会職員) 代弁させていただきます。やまゆり園のみんなと一緒にいたい。職員も利用者もみんなが一緒がいい。

(知事) 皆さんお一人おひとりの気持ちに寄り添って大事にしますから、あなたのお気持ちは実現するようにします。大丈夫です。

(利用者D) 新しく建物が立っても園長とオンブズマンさんと第三者委員さんいますか。変わりありませんか。これからも続けてお話しできますか。

(知事) お気持ちになって考えますから。あなたがこの方とずっとお話ししていきたい、この方とずっとお付き合いしたい、それを優先します。大丈夫です。

(家族A) ○○さんと会ったことが優先されるなら、じゃあ私たちとも時間を作ってくれませんか。あともう一点、園の散歩がされていないという事実誤認に基づいたお話がありました。

事実誤認に基づいて、政策が決められていくのだとしたら、直接あなたと話す時間をください。指定管理についても、他のところに移ったとしたら、そのまま法人を移って働けるなんて常識では考えられないじゃないですか。他の法人が取ったら、ほとんど新人とか派遣社員とか。そういう恐怖をみんな持っているんです。私たちは職員さんたちを信頼しています。だからそういう時間を作れるかどうか、答えてください。(大きい拍手)

(知事) 今日ここに私がやってきて、これですべて終わるなんて全然思っていない。ご希望があれば何度でも私がやってきて、皆さんのお話しをお伺いしたいと思います。

(家族A) では、日程調整してください。これで終わりじゃないということは政策決定されていないと思っていいですね。

(知事) 政策決定はもうしました。1月から裁判が始まり、その時になってさまざまなことが噴き出してくる。この指定管理継続ということは多分行き詰るだろうと思ったので、早くさせていただきます。

(家族A) 手続きが間違っていると思います。一番苦しんで悲しんでいるのは被害者です。

(知事) じゃあ、令和3年が遅くなくても構わないのですか。私は、それは避けたいと思ったから早くしたということです。

(家族A) 遅くなくてもいいんですかとはどういうことですか。

(利用者A) どういうことだよ。どういうことなんだよ。

(知事) 遅くしませんから大丈夫です。

(利用者A) (大声) どういうことなんだよ。余計なことするな。

(利用者D) (叫び声) いつなんですか。何年後ですか。教えてください。

(家族B) 私たち家族会で、ちょっと残念なことを多く感じています。知事は3人の方の情報があって決断されたのだろうと、私は今認識しました。家族会は共同会が千木良と芹が谷に分かれた場合に一つの法人でやっていただくと要望して、県にお願いして現在までそのような形で進んでまいりました。残念なのは、知事が3人の意見をもとにしているように取れたことです。家族会130名の意見であれば是とします。今まで2年8か月、わざわざ引越して職員がずっと面倒みてくれました。今、意向確認も一所懸命やっています。意向確認しても、もしかしたら来年8月ごろに共同会でない人が新しい施設をやるということになるわけですね。今、意向確認して一生懸命準備だけしておいて、新しいところになったらかながわ共同会はいらないよということでは、本当に残念です。知事がここで政策決定されたということですから何を言ってもだめかもしれませんが、家族会の一員として残念です。3人の方以外の家族会の意見が、県の職員を通じてなぜ止めることができなかつたか、県の職員に文句を言いましたが、残念です。(拍手)

(知事) 多分、そのお一人おひとりの認識が違うと思いますね。とてもいいという方もいらっしゃるし、そうでなかった方もいらっしゃるようです。いろんな方がいらっしゃる。よくないことが見えたということがあるなら、よくしていかなければならないということですから、このまま突き進めない状況になっているということ、ぜひご理解いただきたいと思う次第であります。

(家族C) 知的障害者に対する支援で一番大切なのは人間関係なんですね。千木良で事件がおき

てこちらに移ったとき、私が非常に感激したのは8割もの職員がこちらに移ってこられた。しかし、すぐに外出や日中活動が十分にできるとはとても思っておりません。日中活動も、千木良にいた時に比べれば十分にいかなかったかもしれない。そういった不満が先ほど上げられた3人の方が持たれたと思うんですね。ただ、ここにいられるほとんどの方がそう思っていないんですね。園の職員の献身的な努力に皆さん感謝しているし、これからもずっと共同会の方の支援を受けたいと思っているんですね。もし法人が変わったとしたら、今やっている意思決定支援がゼロになってしまうのではないかと心配をしています。十何年か前の県営から民営に移る場合にも、1年以上かけて共同会は我々と約束し、その約束を共同会は全て実行して、十分に期待に応えてくれています。民営化した時からガラッと変わった。そういった感謝の気持ちは皆さん持っていらっしゃる。共同会の職員に対する信頼は非常に高い。確かに一部の理事である職員の不祥事、それは許せないことではありますが、それは津久井やまゆり園とは無関係だと考えています。今更、指定管理を取り消すということにならないように、私は願っております。(拍手)

(知事) 今、続けていただいている意思決定支援がゼロになるということはありません。これはしっかりと、継続させていただきます。お一人おひとりのお気持ちをしっかりと汲み取る意思決定支援という作業は、今まで見えなかったことが見えるようになってきた。我々が本当に利用者の目線に立った福祉を目指していけるようになっていきますから。これはぜひしっかりと進めていきたいと思っています。

(家族会会長) どういう情報をお持ちなのかわかりませんが、共同会が相当厳しい立場に立つという前提でこういう重大な決断をされたこととお聞きしましたので、そういうこともあるかと私自身は理解しています。ただ、私たちがじゃあ他の法人でお願いしますということも考えられないんですね。このかながわ共同会を大事に使っていってもらえないと思っています。私たちは一昨年だったか家族会の連合会でアンケートを取りまして、あんなひどい事件があったが私たちは園を信じ、職員さんを信じて支えて託していくしかないんですよという言葉がありまして、ここにいるほとんどの家族はそういう気持ちであります。知事の中には3人の劇的な変化ということが大きな位置を占めていますけれども、そうでない方もいっぱいいます。共同会の努力を見ていただいて、正しく評価をしていただければ、自ずと正しい結論に行くのかなと思います。今日出た意見を踏まえて、幅広くいろいろな方の意見を聞いていただいて、施設も素晴らしいところだということに、ぜひ知事からも発信いただきたいと思います。(拍手)

(知事) 冒頭申し上げたように事件の直後、園内で職員が一生懸命やっていた姿を見て、本当に感動したんですね。そんな皆さんが続けてやっていたらいいことを何も否定するつもりはありません。そうやって一生懸命やっている方を守るためにも、今ここで1回、外向きには仕切り直さなきゃ前に行けないんだと。1月から裁判が始まったら、今まで出てなかったいろんなことが言われるようになります。その時に今想像できないような状況になることが私は予測できるから、苦しい決断でしたけれども、もう一回仕切り直しをしましょうと申し上げているわけでありまして。ぜひご理解いただきたいと思います。原点は、利用者のお一人おひとりの目になって新しい福祉を作っていくんだ。正直言って日本の障害福祉はそ

うなっていない。全体の問題だと私は思っています。この園の中の問題じゃない。一般の障害福祉そのものの考え方、利用者の目に徹底的に立つんだという流れを、ここから作っていきたい。そのために、一緒にやっていきましょうと。ぜひ、それを皆さんにお願いしたいと思う次第であります。(拍手)

(利用者D) 今の気持ちは、私は心の底から芹が谷の津久井やまゆり園を愛しております。皆様のおかげでこれまで生活面や活動などできたなあと思いつつあります。応援ありがとうございました。本日はお集まりいただきまして感謝いたします。(大きな拍手)

(後見人) 指定管理制度の中で請け負っている事業者がそういう事件(津久井やまゆり園事件と愛名やまゆり園元園長の事件)を起こした場合に、見直しますという条項が入っていたのかどうか。その条項が入っていなければ、今知事がおっしゃったこと自体、そもそも根拠がなくなってしまうと思うんですね。

二点目として、3名の方がお散歩に行かれていて外での生活の様子にかなり感動されたということで、現場を見ていただいて大変ありがとうございます。知事のお心の中で考え方として、本来経営と運営が別だというお考えがあるんじゃないかと思っています。津久井やまゆり園自体が県が任せて安心なのかというのではなく、県が目指すべき障害福祉の方向性と津久井やまゆり園が走っている方向性が本当に同じなのか。知事が先日お会いされた3名の方の意思決定支援なんて、全国どこでもやっています。ここの経営の透明性を懸念されているのか、運営の透明性を懸念されているのか、それとも運営と経営の分離を懸念されているのか、そのあたりを教えていただければと思います。

(知事) まず、最初の点であります。やまゆり園との契約で指定管理を継続しているところがありますが、これをいきなり断ち切るということはできません。その中で、大丈夫かな、ということが起きたときに協議を始めるということは規定されています。ですから、協議を始めさせてくださいと共同会に申し入れている状況になります。

二点目の質問であります。意思決定支援はどこでもやっているということですが、私の認識では、厚生労働省で定めた意思決定支援のガイドラインに基づく全国で初めての作業だと認識しています。そして、やってみて見えてきたことがある。今、経営と運営、焦点をあてているのは運営の問題であります。県と津久井やまゆり園が全く同じだったかという、今までは一緒だったと思うんです。しかし、私は新しい福祉のあり方、これをやっぱりみんなで作りに上げていく時代になっているんじゃないかなと思ったところで、それを一緒にやっぺいこうという話をさせていただいているとご認識いただきたいと思います。

どうもありがとうございました。(拍手)

以上

(文責) 社会福祉法人かながわ共同会

注：それぞれの発言内容は、発言の趣旨等について出来る限り正確に伝わるよう、かながわ共同会が書き起こしたのですが、ボリュームの都合から、発言の一部を省略し、また、実際の発言とは言い回しや語尾等が異なる場合があります。